

平成二十四年度 大学院人文科学府 修士課程 第2期入学試験問題
(国語学・国文学)

一 別紙Aの影印を書き込みも含めて全文翻字せよ(解答は縦書きにすること)。(二〇点)

二 別紙Bの分布図について言語学的観点から分析を加えよ。(二〇点)

三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)

(1) 一条摂政御集

(2) 八文字屋本

(3) モーラ

(4) 文法化

四 次の中から志望専攻に応じて一問を選択し、解答せよ。(二〇点)

(国文学・古代)

・『源氏物語』における準拠について説明せよ。

(国文学・近世)

・貞門俳諧とその後の俳諧史の展開について説明せよ。

(国語学)

・漢語の品詞性について具体例を示しつつ詳述せよ。

別紙 A

五、この文章の「　　」の部分に、
 以下の文章の「　　」の部分に、
 最も適切な語句を、それぞれ
 下の欄に記入しなさい。ただし、
 同じ語句を二回以上記入しな
 さい。また、記入した語句の
 読みを、それぞれ「　　」の
 部分に記入しなさい。ただし、
 同じ読みを二回以上記入しな
 さい。また、記入した読みが
 正しい場合にのみ、その語句の
 読みを記入しなさい。

解答

別紙 B

平成二十四年度 大学院人文科学府 修士課程 第2期入学試験問題
(国語学・国文学)

